佐織中だより

～　多様な「幸せ」実現　～

愛西市立佐織中学校
第２５号
令和５年１１月１７日
（発行者）佐古　達哉

♪　がんばれ3年生！

今週に入って急に寒くなり、秋を飛び越えて冬が到来したかのような日が続いています。体育の授業では、体を温めるために準備運動の一環として子どもたちがグラウンドを走る様子も見られるようになり、熱中症の心配をしていた先日までと気候・季節がガラッと変わっていることを実感します。

そんな寒さが身に染みる季節になると、中学校では３年生が「進路選択」に向けて大詰めの季節を迎えることになります。先日の学校だよりでも紹介をした１１月１日の「進路説明会」を経て、３年生の子をもつご家庭では、かなり現実的・具体的な会話を親子でする機会が多くなっていることと思います。特に今週の水曜からは３年生の「三者懇談」が始まり、「進路（夢・目標）実現」に向けてそれぞれの子に合った「道」を、多様な選択肢の中から、生徒自身が納得して決定していけるよう生徒・保護者・学校がスクラムを組んで話し合いを深めています。今回の懇談を通じて、多くの子の私立高校・専修学校の受験校が決まることになりますが、受験校を決めたことで安心するのではなく、ようやく「進路実現のスタートラインに立った」と思って、より一層がんばってほしいと思います。

そんな重要な三者懇談の裏側では、懇談のない時間を使って３年生の子たちが「地域清掃」に取り組んでいます。この取組は今年度から新たに始めたもので、コロナ禍のここ数年、さまざまな制約を受ける生活を子どもたちが送ったことにより、地域との交流・関わりが一気に希薄なってしまった面について、「地域で生きる人材育成」といった側面を学校に取り戻していくことを目的に計画・実施をしました。

子どもたちが実際に活動をしている時間、３年の教員陣は「三者懇談」の実施、そして１・２年の教員陣は学年の授業を実施しているという状況のため活動場所に同行できる教職員がほとんどいないため、現地では「地域コミュニティ」の多くの方の力を借りて活動をしています。これまでさまざまな面で自分たちを支え、応援してくださった地域の皆さんへの「恩返し」という思いをもちながら、一生懸命活動に取り組む３年生の姿は実に頼もしく、初めての取組ではありますが、すでに有意義な活動になっていると感じます。また来週以降のところで、この新たな取組に対する反省をしっかりと行い、長く続くより良い取組へと高めていこうと思います。

自分自身の「進路実現」に向けての努力だけでなく、地域を担う人材になるべく、さまざまな面で一生懸命にがんばる３年生みんなのことを、学校だけでなく地域の多くの人が応援していることと思います。自分の将来に向けて不安・悩みは尽きないかもしれませんが、自分を・仲間を・地域を・未来を信じて、体調管理に努めつつ、一歩一歩着実に歩みを進めてほしいと願います。がんばれ、３年生―！！